

福井県民の消費者マインドは…

物価の上昇で高まる、生活不安と貯蓄への圧力

福井県内消費者に、半年前と現在の暮らし向きを比べた生活実感、および今後半年間の暮らし向きについて質問し、D.I.値（「良い」「やや良い」から「悪い」「やや悪い」の回答割合を差し引いた数値＝景気動向指数）の結果から、福井県民の今の消費者マインドが見えてきました。

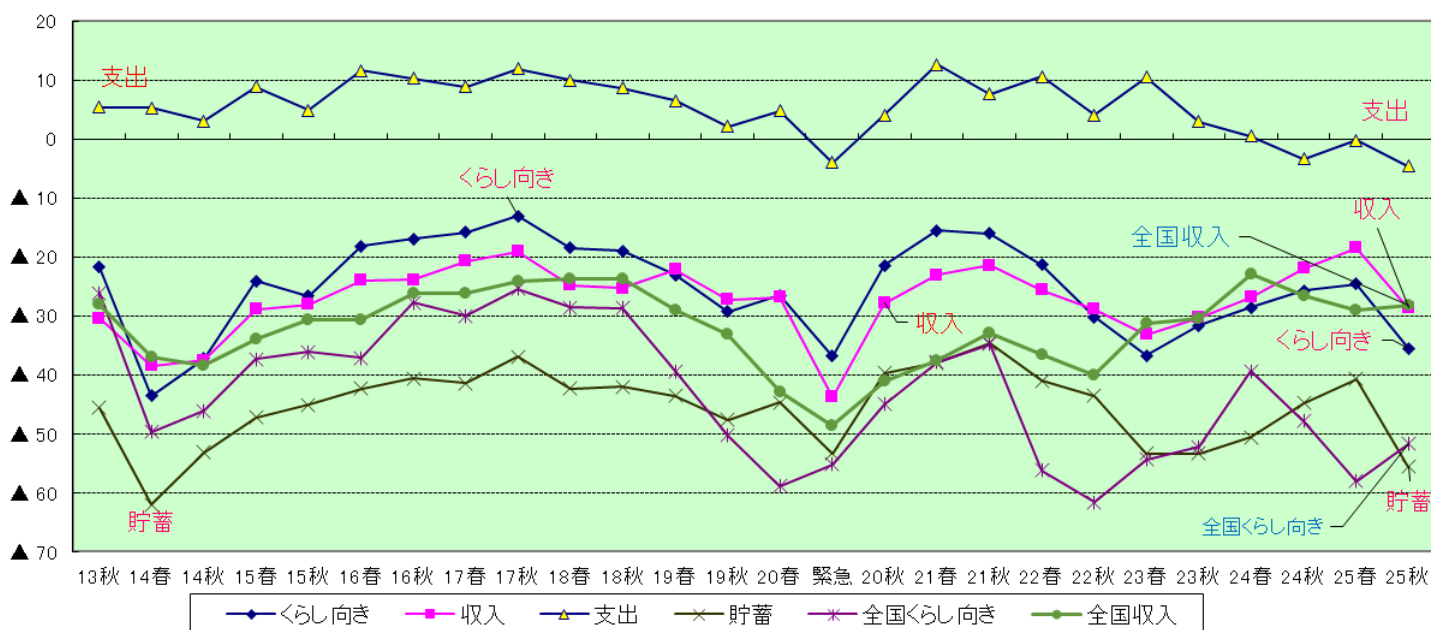
- ① 暮らし向きや収入、支出と貯蓄の半年後の見通しについては、全ての項目で、『変わらない』が減り『やや悪くなる(減る)』に流出し、D.I.値が前回から大きく下がりました。
- ② 「収入」の増減よりも、家計全体としての「暮らし向き」と「貯蓄」の悪化を強く懸念している結果となっており、生活コストの上昇から、『生活を維持するために貯蓄が減る』という悲観的な見方が強まっているといえます。
- ③ 「1年前と比較した実質(現在の)暮らし向きと収入」においては、「暮らし向き」のD.I.値の方が「収入」のD.I.値より約10ポイント低くなっていることから、『収入が減ったと感じる度合い』以上に『生活が苦しくなったと感じる度合い』が強いことを表しており、物価上昇などの要因によって、収入の増減以上に実質的な購買力や生活のゆとりが損なわれているといえます。

2025秋 今後半年間の暮らし向きなど

	暮らし向き	収入	支出	貯蓄
良くなる(増える)	0.8%	0.3%	8.6%	0.0%
やや良くなる(やや増える)	1.6%	4.2%	22.4%	3.9%
変わらない	58.9%	61.6%	32.3%	36.1%
やや悪くなる(やや減る)	30.6%	22.9%	27.2%	38.3%
悪くなる(減る)	6.7%	10.1%	8.2%	20.5%
無回答	1.4%	0.9%	1.2%	1.2%
D.I. 値	▲ 35.5	▲ 28.7	▲ 4.6	▲ 55.6

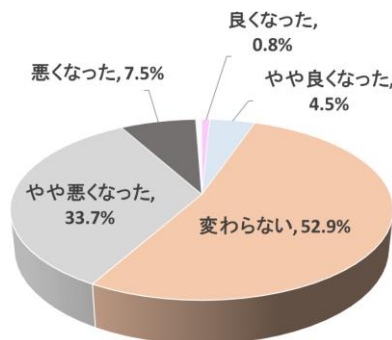


今後半年間の暮らし向きなど 過去のD.I.値推移

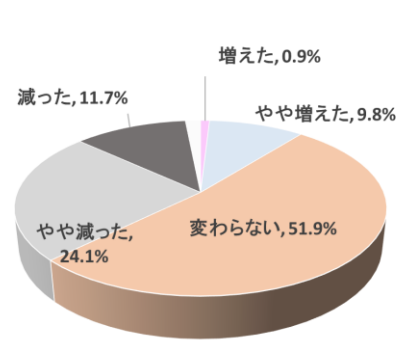


前年と比べた実質暮らし向きと収入の変化 D.I.値推移

実質の暮らし向き			
24年春	24年秋	25年春	25年春
▲ 33.5	▲ 28.1	▲ 35.0	▲ 36.2
実質の収入			
24年春	24年秋	25年春	25年春
▲ 29.1	▲ 23.8	▲ 24.3	▲ 25.4



25年秋 前年と比べた実質暮らし向き



25年秋 前年と比べた実質収入